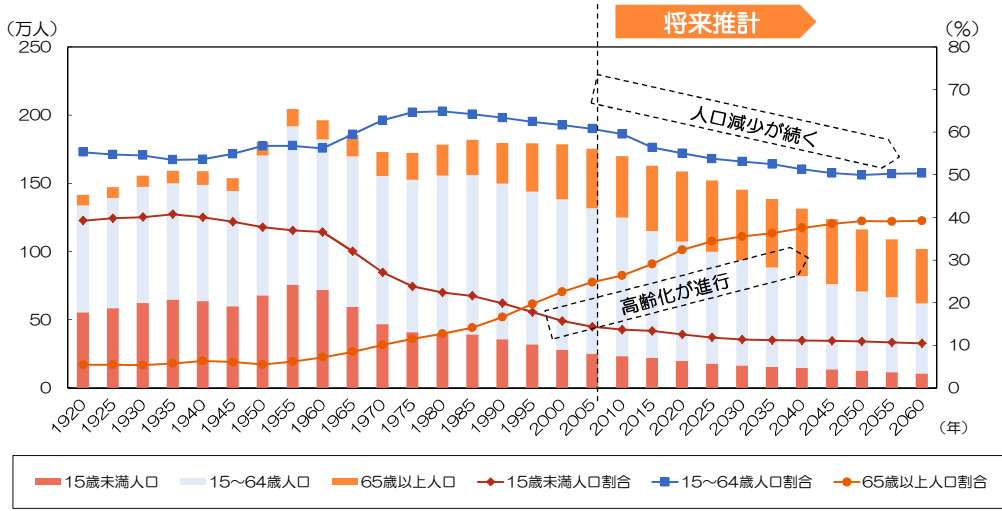


骨子案 別添資料

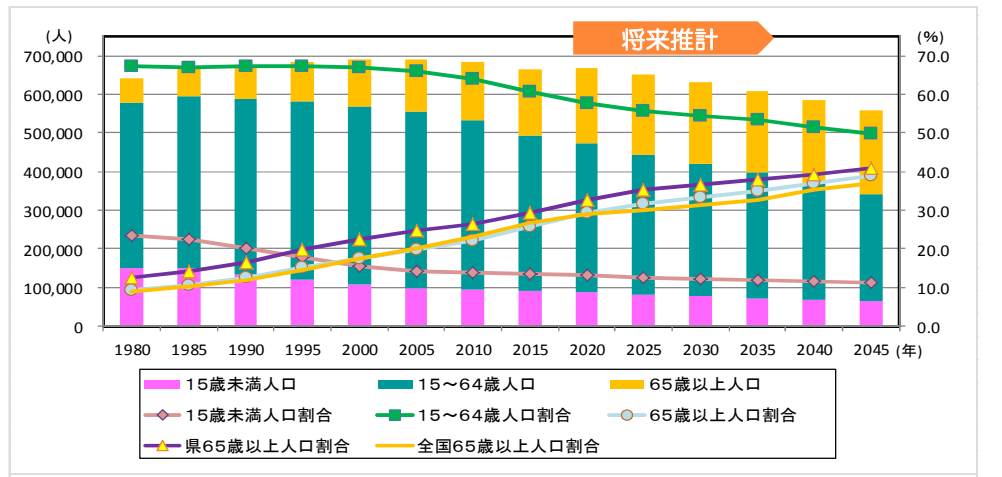
1 年齢3区分別人口の推移（県）



総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



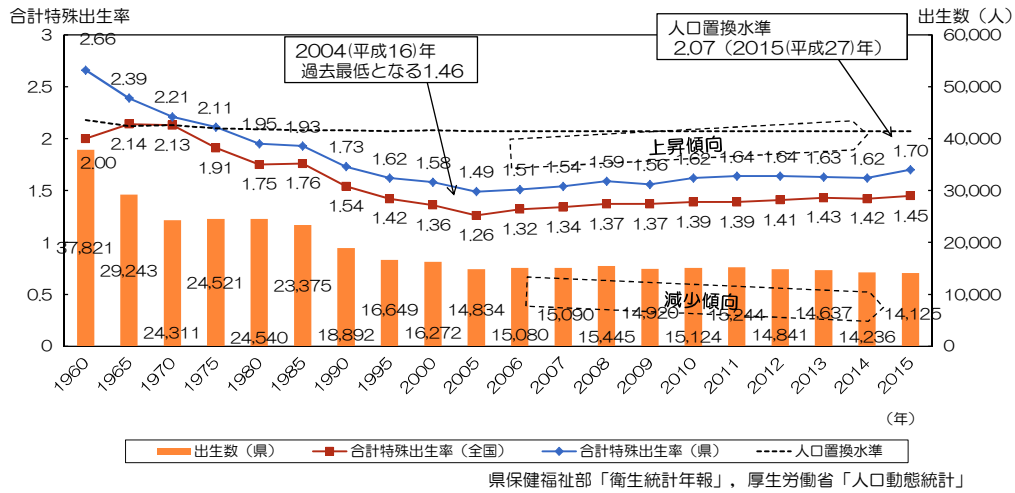
2 年齢3区分別人口の推移（管内）



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



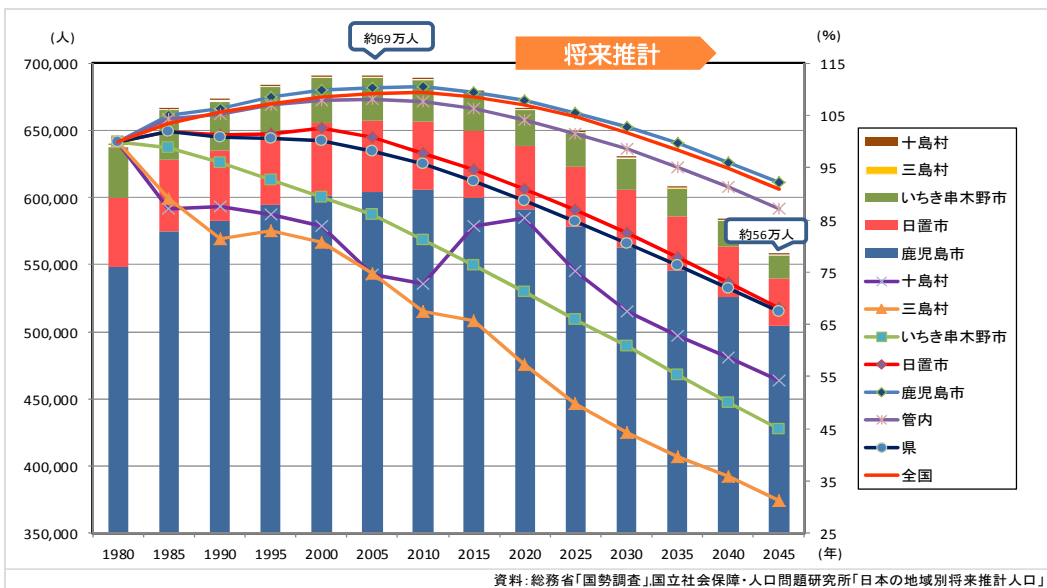
3 合計特殊出生率・出生数の推移



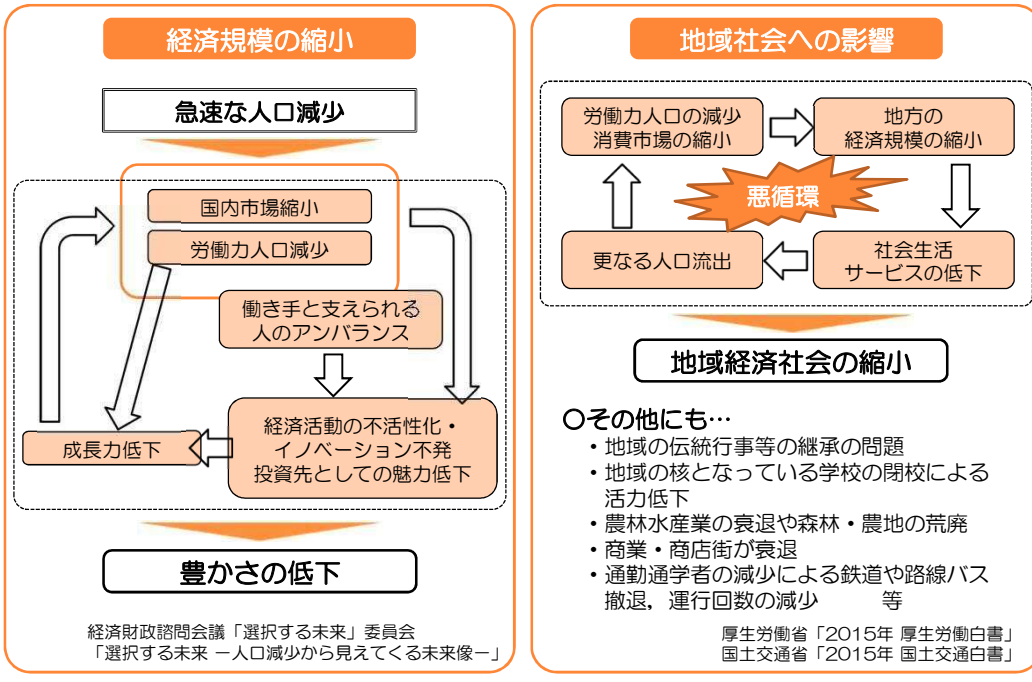
2015(平成27年)
合計特殊出生率 1.70
出生数 14,125人

・合計特殊出生率は全国を上回るものの、1980(昭和55)年以降、人口維持に必要な水準を下回り続けている。一方で、過去最低となった2004(平成16)年以降、上昇傾向にあるものの、人口減少の影響から出生数は減少(2005年と比べ 合計特殊出生率:0.21増, 出生数:△709人)

4 総人口の推移及び人口増減(1980年を100として指数化)



5 人口減少・少子高齢化の課題



6 産業別総生産額（管内・県）

（単位：百万円）

市町村	総生産額	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
		実額	構成比(%)	実額	構成比(%)	実額	構成比(%)
鹿児島市	1,938,103	7,152	0.4	211,839	10.9	1,705,470	88.0
日置市	126,234	3,438	2.7	32,281	25.6	89,625	71.0
いちき串木野市	93,389	3,933	4.2	31,122	33.3	57,676	61.8
三島村	1,682	56	3.3	635	37.7	980	58.3
十島村	3,706	138	3.7	1,992	53.8	1,550	41.8
管内計	2,163,114	14,716	0.7	277,870	12.8	1,855,301	85.8
県全体	5,388,480	245,854	4.6	1,071,112	19.9	4,033,583	74.9
管内計/県全体	40.1%	6.0%	—	25.9%	—	46.0%	—

資料：平成27年度市町村民所得推計（市町村内総生産）
 ※総生産額＝産業別実額＋輸入品に課される税・関税－総資本形成に係る消費税
 ※端数処理等のため、市町村合計は県民経済計算値と一致しません。

7 産業別就業者数（管内・県）

市 町 村	就業者数(人)	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
		人数(人)	構 成 比 (%)	人数(人)	構 成 比 (%)	人数(人)	構 成 比 (%)
鹿 児 島 市	269,760	3,598	1.4	40,046	15.4	216,355	83.2
日 置 市	21,683	1,358	6.3	5,208	24.1	15,063	69.6
いちき串木野市	13,289	774	5.8	3,728	28.1	8,757	66.0
三 島 村	195	38	19.5	27	13.8	130	66.7
十 島 村	385	113	29.4	64	16.6	208	54.0
管 内 計	305,312	5,881	2.0	49,073	16.6	240,513	81.4
県 全 体	753,855	70,249	9.5	143,838	19.4	525,606	71.1
管内計/県全体	40.5%	8.4%	—	34.1%	—	45.8%	—

資料：総務省「国勢調査」

※総数には、「分類不能の産業」を含む。

※「分類不能の産業」はどの産業にも分類されなため除いている。なお、割合の算出においても、分母から「分類不能の産業」を除いている。

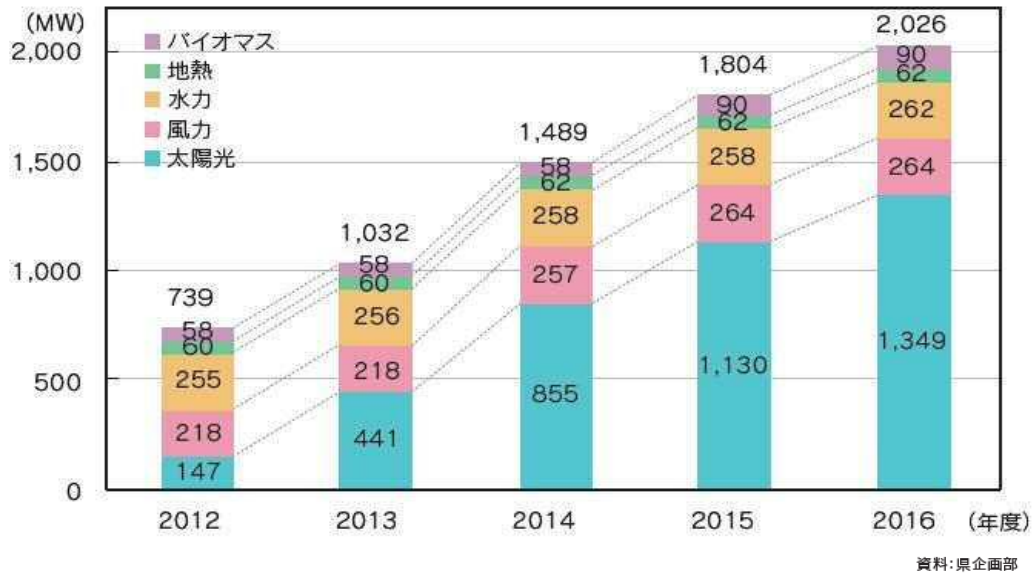
8 世界のIoTデバイス※数の推移及び予測



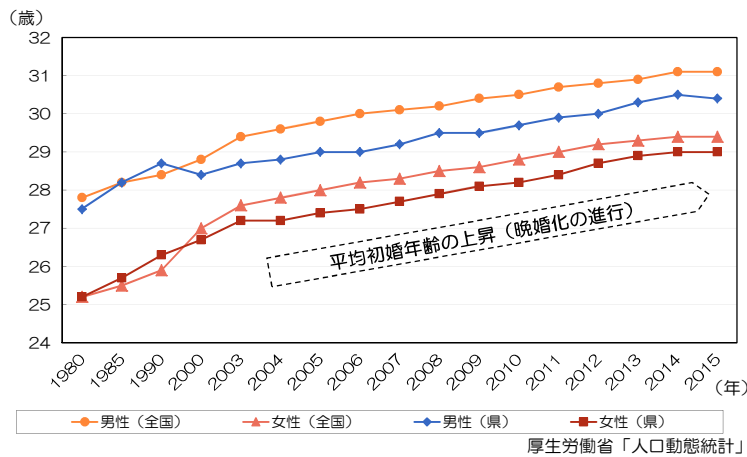
※インターネットに接続可能な機器

資料：総務省「情報通信白書(2017年版)」

9 再生可能エネルギーの導入量の推移（発電分野【県全体】）



10 平均初婚年齢の推移



2015(平成27年)
 本県 男性 30.4歳
 女性 29.0歳
 全国 男性 31.1歳
 女性 29.4歳

- 本県の平均初婚年齢は、男女とも全国より低い水準で推移
- 一方で、全国と同様に晩婚化が進行しており、1980（昭和55）年と比べると男性が約3歳、女性が約4歳ずつ上昇

生涯未婚率※

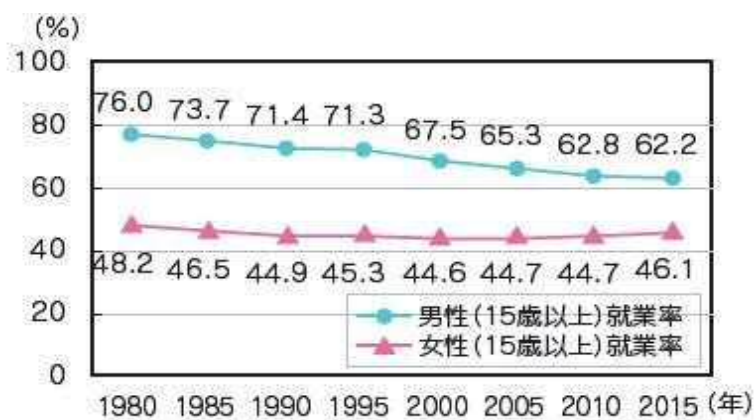
区分		1980年	2015年	比較増減
県	男性	2.8%	22.6%	+19.8%
	女性	5.3%	14.7%	+9.4%
全国	男性	2.6%	23.4%	+20.8%
	女性	4.5%	14.1%	+9.6%

※50歳時点で一度も結婚したことのない人の割合 総務省「国勢調査」

2015(平成27年)
 本県 男性 22.6%
 女性 14.7%

- 生涯未婚率も上昇を続けており、1980（昭和55）年と比べると男性が約8倍、女性が約3倍の水準まで上昇

11 男女別就業率の推移・管理的職業従事者に占める女性の割合



区分	2005年	2010年	2015年
県	11.3%	14.7%	17.5%
全国	11.7%	14.0%	16.4%

資料: 県民生活局